

フォード訪日訪韓粉砕 / 核基地化糾弾 / 日帝の侵略糾弾 / 南朝鮮人民への弾圧粉砕 /



11月1日
第111号
本号4頁40円
1年間(24回開封・送料込) 1200円
発行所
東京都豊島区池袋
2-11-2白石ビル
怒涛社
電話(982) 3312
147121(東京)
編集発行人 中川進

今日、ブルジョア支配者どもは、自らがつくり出した諸矛盾に直面し、あれこれの手直し政策でもって何とかこれを解決しようと、その野望をむきだしにして、労働者、人民に対するしわ寄せを強めている。しかしながら世界の労働者人民は、支配階級の敵対をはねのける断固たる闘いを展開し、その闘争は確固として前進している。

の横須賀ミッドウェイ母港化、チュウ政権への援助を行い、また韓国における経済的権益を拡大し、朴政権益全面的に援助、協力するなど、東南アジア諸国やとりわけ韓国の支配階級への強力なテコ入れをおこなっている。日本支配階級は、南朝鮮人民を劣悪な労働条件の下で直接にも搾取・収奪することによって、多大な利益を得ている。朴政権は激化する朴独裁反対闘争に恐怖し、南朝鮮人民に対して大弾圧をかけ、日米両帝国主義と結託して、朝鮮人民の南北自主統一を要求する闘いを圧殺している。

だが現在、この闘いに敵対し労働者人民に排外主義をあおりたて、ブルジョアジーの策動に屈服している社共をはじめとする様々な小ブルジョアの傾向を断固として粉砕する闘いは、極めて重要なものとなっている。したがって現在社共の推進せんとしている運動に明確に対決し、それを粉砕していくために社共の反動性、小ブル性、排外主義

的性情を暴露することが必要である。社共は、田中政府に対して「対韓政策転換」あるいは「対韓屈辱外交反対」などと主張し、南朝鮮人民の南北自主統一の要求、反日反朴闘争に敵対している。このことは、労働者人民の中に排外主義を育成し、ブルジョアジーの策動を助長するものである。

また、「国民の関心が危険な政策を改めることに向かうよう」「フォード来日反対」を空論的に主張している。勿論その背景には、社会党にしろ日共にして、統一地方選挙、次期衆院選挙のための票集め

がある。彼らのあれこれの小ブル的改良要求は、プロレタリア独裁のための闘いにとって、百害あって一利なしであること、いうまでもないことである。また、社共は「核は日本の安全をおびやかす」とか「日本国民の平和と安全にかかわる。」などと主張し日本支配階級の反革命的意図を陰べいし、排外主義を助長している。

前進する労働者、人民の革命的闘争と、国際連帯闘争への弾圧に反対する共のよう主張と活動からはっきりと訣別する必要がある。わが委員会、プロレタリア国際主義を一貫して堅持しプロレタリア独裁樹立のため

に闘うものである。このプロレタリア国際主義を口先だけのものでとすることは、小ブル的日和見主義以外の何物でもない。わが委員会は、そのために全世界の労働者階級の共通の闘争をすすめる。この闘争をすすめるには、労働者人民は、社共の排外主義的運動に対決し、フォード訪日訪韓とそれを利用した日帝、朴一派の反動的策動を糾弾し、朝鮮人民の決起に連帯する闘いを強力に進めなければならない。

「警察権力の爆弾犯人」づくりの実態をばく10・26千駄ヶ谷区民会館で開かれた主催は爆弾弾圧と闘う各救済会と地区救済会などで構成する10・26集会実行委員会。

集会には、五百名の人々が集まり、「国家権力のフレームアップ」の方法、とりわけ爆弾犯人への仕立あげのデータメタメタ方法を糾弾し、かつまた、支配者に対する闘いを担った人々を市民社会から分断し、実質上の抹殺をねらうやり方を糾弾し、権力を告発し勝利していく一歩をつくりあげていくことを確認した。

プロレタリア世界革命の旗の下
万国の労働者団結せよ!
労働者共産主義委員会

フレームアップ解体・爆弾弾圧
粉砕・刑法改悪阻止の集会に
五百名が結集
東京

フォード・田中に断固たる決起の嵐を!

南朝鮮人民の闘い さらに拡大

「大統領緊急措置令」違反で逮捕された政治犯の釈放や維新憲法の改正などを要求する南朝鮮人民の闘いは、九月下旬から活発に展開されていく。十月に入ってからより一層高揚している。

国際連帯闘争への 弾圧と闘う関西集会

10・28 会場は熱気のもと、支配階級の激化する弾圧に反対して、労働者人民の強固な国際連帯をうちたてる決意を新たにしました。

松戸・柏で十三・一へむけ 「狭山の黒い雨」上映集会

10・26 松戸市民会館において、狭山差別裁判に対決して、「狭山の黒い雨」上映集会が行われ、部落解放同盟千葉県連連帯などのあいさつをうけた。

闘争短報

狭山差別裁判判決
一〇月二日
神奈川フォード訪日訪韓核基地化糾弾闘争
十月十日
於・横須賀
島添さん解雇粉砕、弾圧粉砕の集会
十月十一日
於・東京南部労政会館
判決、国会内決起闘争の公判は共に十二日行われる
フォード訪日訪韓糾弾闘争
十一月十八日

カトリック教徒は、九月、 全国「聖年」大会を開き、 池田から服従、逮捕者の釈放 を要求した。大会終了後、学生 外国人神父などを先頭にデモ に出ようとし、これを阻止せ んとする機動隊に体当たりをす るなど断固として対決した。

カトリック教徒は、九月、全国「聖年」大会を開き、池田から服従、逮捕者の釈放を要求した。大会終了後、学生外国人神父などを先頭にデモに出ようとし、これを阻止せんとする機動隊に体当たりをするなど断固として対決した。

「大統領緊急措置令」違反 で逮捕された政治犯の釈放や 維新憲法の改正などを要求す る南朝鮮人民の闘いは、九月 下旬から活発に展開されてい く。十月に入ってからより一 層高揚している。

「大統領緊急措置令」違反で逮捕された政治犯の釈放や維新憲法の改正などを要求する南朝鮮人民の闘いは、九月下旬から活発に展開されていく。十月に入ってからより一層高揚している。

「警察権力の爆弾犯人」 づくりの実態をばく10・26 千駄ヶ谷区民会館で開かれた 主催は爆弾弾圧と闘う各救済 会と地区救済会などで構成す る10・26集会実行委員会。

「警察権力の爆弾犯人」づくりの実態をばく10・26千駄ヶ谷区民会館で開かれた主催は爆弾弾圧と闘う各救済会と地区救済会などで構成する10・26集会実行委員会。

集会には、五百名の人々が 集まり、「国家権力のフレ ームアップ」の方法、とりわけ 爆弾犯人への仕立あげのデ ータメタメタ方法を糾弾し、 かつまた、支配者に対する闘 いを担った人々を市民社会か ら分断し、実質上の抹殺をね らうやり方を糾弾し、権力を 告発し勝利していく一歩をつ くりあげていくことを確認し た。

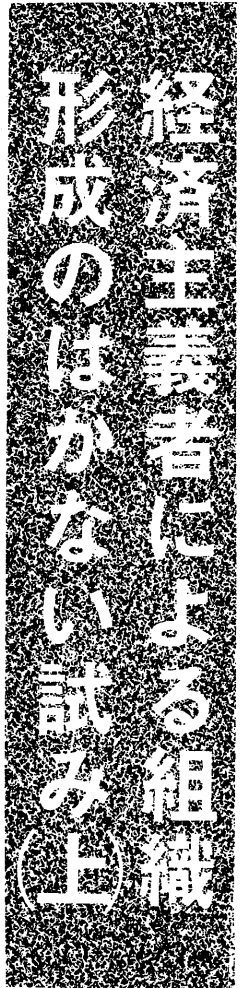
集会には、五百名の人々が集まり、「国家権力のフレームアップ」の方法、とりわけ爆弾犯人への仕立あげのデータメタメタ方法を糾弾し、かつまた、支配者に対する闘いを担った人々を市民社会から分断し、実質上の抹殺をねらうやり方を糾弾し、権力を告発し勝利していく一歩をつくりあげていくことを確認した。

また、戦前、戦後の、フレ ームアップ、人民弾圧の方法が 志賀義男氏(「日本の声」) や水戸厳氏などからも報告さ れた。

また、戦前、戦後の、フレームアップ、人民弾圧の方法が志賀義男氏(「日本の声」)や水戸厳氏などからも報告された。

また、戦前、戦後の、フレ ームアップ、人民弾圧の方法が 志賀義男氏(「日本の声」) や水戸厳氏などからも報告さ れた。

また、戦前、戦後の、フレームアップ、人民弾圧の方法が志賀義男氏(「日本の声」)や水戸厳氏などからも報告された。



借り物理論の積み木で

党派形成はかるマル青同

高谷光一

本年一月十七日、マルクス主義(準)青年同盟という組織が結成報告集をおこなった。周知のように、この組織は、レーニン研究会と解放委員会という組織の野合によってつくられたものである。

「結成宣言」をとることが、あたかも「多数の活動家...」と「多数の無党派活動家」を合流させたものである。この宣言は、内閣反対の立場をとることがあたかも「諸党派間の相互止揚」という願望を満足させるかのよう主張し、階級対立の非和解性、暴力性を根底から否定し、暴力の果す階級的役割を否定するという反動的見解をとっていること(も)もまた「結成宣言」の重要な特徴である。

「結成宣言」の重要な特徴は、まさに「彼のように準備会では、まさに彼らの小ブルと理論機関誌」と銘うって出された「共産青年」創刊号の「基礎論文」なるものについて同様である。この論文の第四章、第二節に「いかなる建設的野合の呼びかけであり、党路線を確立するの」という項がある。

「結成宣言」の重要な特徴は、まさに「彼のように準備会では、まさに彼らの小ブルと理論機関誌」と銘うって出された「共産青年」創刊号の「基礎論文」なるものについて同様である。この論文の第四章、第二節に「いかなる建設的野合の呼びかけであり、党路線を確立するの」という項がある。

一、マル青同の『小ブル性克服の新たな道』

総路線」なるもの

マル青同は、労働者階級の中に活動基盤を移行し、小ブル性克服の新たな道を求め(る)と称して、プロレタリア階級について次のように述べている。

マル青同は、「労働者階級の中に活動基盤を移行し、小ブル性克服の新たな道を求め(る)と称して、プロレタリア階級について次のように述べている。『プロレタリア階級の二面性(なんど)とは...』」

マル青同は、労働者階級の中に活動基盤を移行し、小ブル性克服の新たな道を求め(る)と称して、プロレタリア階級について次のように述べている。『プロレタリア階級の二面性(なんど)とは...』

マル青同は、労働者階級の中に活動基盤を移行し、小ブル性克服の新たな道を求め(る)と称して、プロレタリア階級について次のように述べている。『プロレタリア階級の二面性(なんど)とは...』

マル青同は、「労働者階級の中に活動基盤を移行し、小ブル性克服の新たな道を求め(る)と称して、プロレタリア階級について次のように述べている。『プロレタリア階級の二面性(なんど)とは...』」

マル青同は、「労働者階級の中に活動基盤を移行し、小ブル性克服の新たな道を求め(る)と称して、プロレタリア階級について次のように述べている。『プロレタリア階級の二面性(なんど)とは...』」

マル青同は、「労働者階級の中に活動基盤を移行し、小ブル性克服の新たな道を求め(る)と称して、プロレタリア階級について次のように述べている。『プロレタリア階級の二面性(なんど)とは...』」

マル青同は、「労働者階級の中に活動基盤を移行し、小ブル性克服の新たな道を求め(る)と称して、プロレタリア階級について次のように述べている。『プロレタリア階級の二面性(なんど)とは...』」

マル青同は、「労働者階級の中に活動基盤を移行し、小ブル性克服の新たな道を求め(る)と称して、プロレタリア階級について次のように述べている。『プロレタリア階級の二面性(なんど)とは...』」

マル青同は、「労働者階級の中に活動基盤を移行し、小ブル性克服の新たな道を求め(る)と称して、プロレタリア階級について次のように述べている。『プロレタリア階級の二面性(なんど)とは...』」

怒涛の定期講読を！ 1部40円 年間1200円

目次
一、マル青同の『小ブル性克服の新たな道』
二、マル青同の『戦略的総路線』なるもの
三、プロレタリア階級の二面性
四、中共からの『社帝』規定のひょうせつ
五、『プロレタリア階級の克服』の内実

